

はじめに

吹田市地域福祉計画は、「いのちとくらしを守り、一人ひとりが輝くまちづくり」を目標として、平成 18 年（2006 年）5 月に策定されました。地域福祉とは、くらしの場である「地域」に着目し、「地域」を基盤として、一人ひとりの生活を総合的に支える仕組みをつくろうとするものであり、その取り組みは住民参加と職員参加、すなわち「公民協働」で進めていく必要があります。

住民参加の組織として、平成 19 年（2007 年）に吹田市地域福祉計画推進委員会が設置されました。市民公募委員や、社会福祉関係団体や公共的団体の代表者の方など、委員 11 名で構成され、平成 21 年（2009 年）5 月までに計 6 回の会議を開催しました。また、推進委員会のもとに設置された作業部会では、地域福祉計画をより具体的に推進していくための取り組みについて検討を重ね、平成 21 年（2009 年）5 月までに計 18 回の会議を開催しました。

「吹田市地域福祉計画」は、全庁的な取り組みであり、60 の施策に関わる市の事業は実に 40 以上の室課が関わって進めています。また、計画の具体化のために、推進委員会が中心となって進めてきた取り組みもあります。

平成 20 年（2008 年）が、吹田市地域福祉計画の中間年にあたることから、吹田市地域福祉計画推進委員会の 3 年間の取り組み経過をまとめました。この 3 年間の推進の取り組みが、平成 23 年（2011 年）から始まる「第 2 次吹田市地域福祉計画」の策定及び推進に寄与できれば幸いです。

平成 21 年（2009 年）5 月

吹田市地域福祉計画推進委員会

委員長 井岡 勉